

地域限定せず実施へ

遺品等の手掛かり無情報でも 戦没者遺骨DNA鑑定

厚生労働省は、硫黄島で収容された身元の特定につながる遺品等がない遺骨二柱について、遺族とのDNA照合で身元が確認されたことを公表した。同省は、平成二十八年以降、沖縄、硫黄島、キリバス共和国の3地域で「遺品の無い」遺骨の身元を特定する鑑定を進めてきたが、今回国内で初めて身元が判明した。

田村憲久厚生労働大臣（三重県遺族会会長）は、一月二十七日の参院予算委員会で、立憲民主党の白真勲議員の質問に答え、今回身元が判明した二柱は、平成二十二年と二十四年度に硫黄島で収容された遺品が無い遺

骨で、昨年十一月の身元特定DNA鑑定会議で遺骨と遺族のDNAが一致したことが確認されたことを明らかにした。田村大臣は、「信じられない」「見つかったことが奇跡。ありがたい。人も早く家に帰りたい」と述べた。

「ただらう」といった遺族からの喜びの声についても触れた。また、菅義偉首相はこの日の同委員会、遺品等の手掛かりの無い戦没者遺骨については、これ

までも地域を限定してDNA鑑定を実施していたが、パラオ共和国のベリリュー島などさらに対象地域の拡大を検討しており、「多くのご遺骨が一日も早くふるさとへ戻ら

れるよう、ご遺骨をご遺族に早期にお返し出来るよう、全力を尽くします」と答弁した。

二月五日、厚生労働省は、今回の硫黄島の二柱のほか、昨年八月及び九月に、キリバス共和国タラフ環礁で収容された遺骨二柱の身元も特定されていることの結果を踏まえ、遺品等の手掛かり情報がない戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定を、地域を限定せずに公募により実施することとし、令和三年十月を目途に受付を開始することを発表した。

本会では、遺品等の手掛かり情報がない戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定を、地域を限定せずに公募により実施することとし、令和三年十月を目途に受付を開始することを発表した。

本会では、遺品等の手掛かり情報がない戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定を、地域を限定せずに公募により実施することとし、令和三年十月を目途に受付を開始することを発表した。

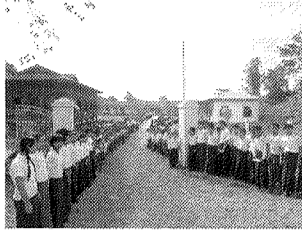
ミャンマー(旧ビルマ)小学校修繕募金のお願い

日本遺族会では、ミャンマー(旧ビルマ)に建設贈呈した小学校の修繕費用について寄附金を募っております。先の大戦で、18万の将兵が散華されたミャンマー(旧ビルマ)の子供たちのため、平成11年度より3年計画でヤンゴン、アキャブ、ペグー市内に三校の小学校を建設し、竣工贈呈をいたしました。建設から二十数年が経過し、校舎等も老朽化が進んでいることから本会では、令和2年度事業計画で社会奉仕活動の推進として、この度小学校の修繕費用を募ることとなりました。関係ご遺族をはじめ、広くご遺族の皆様からのご支援とご協力賜りますよう、お願いいたします。募金単位は、1口三千円から。

銀行名：三井住友銀行 神田支店 口座番号：当座預金1015126
口座名：一般財団法人 日本遺族会(ザイ) ニホンイソクカイ



アキャブのバンドウタズー小学校



ペグーのカドウィンチャン小学校

時局に思う



新型コロナウイルスの猛威が収まりません。感染が再び拡大し、年明けから二月七日まで十一都府県に再び緊急事態宣言が発出され、感染状況を鑑み、栃木県を除く十都府県は三月七日まで宣言が延長されました。

政府は新たに第三次補正予算を成立させ、医療提供体制の確保、全額国費負担のワクチン接種に向けた環境整備、中小・小規模事業者への資金繰り支援、時短営業協力金などの支援を実施します。

出口の見えない状況に、大きな不安が覆っています。未知のウイルスに対峙するため、政府の

施策も医療界、経済界等様々な専門家の意見を聞きながら慎重に決断せざるを得ず、迅速性に欠ける印象を与えています。加えて国会議員の不用意な言動が拍車をかけていることには憤慨する思いです。

わが国が現在まで、人口比でも感染者数、死亡者数とも世界的に低い水準で抑えられているのは、医療従事者の皆様のご奮闘と、国民一人一人のご努力の結果であり、ご協力に対し改めて心より感謝申し上げます。皆様の献身に報いるためにも、国民の負託を受けた重責に今一度

思いを致し、「命とくらし」を守るため、政府与党一丸となってきめ細かな対策、支援を続けてまいります。

昨年十一月、天皇皇后両陛下、眞子内親王殿下の御臨席を仰ぎ、議院開設百三十年記念式典が挙行されました。衆参議院運営委員長が式典委員長であったため、式典委員長として、両陛下、内親王殿下のお出迎え、お見送りをさせていただきました。

お帰りの際に、天皇陛下より「水落さんは、遺族会の会長ですね」とお声をかけ賜り、皇后陛下へご紹介いただきました。あまりに突然のことに驚きを隠せませんでした。

天皇陛下は、戦争を理解する為、幼い頃より上皇皇后両陛下から、折に触れ様々な話をお聞き

になり、戦争体験者の労苦を聞くことに心を傾けてこられました。その上で、常に世界平和と国民の幸せを願い、また本会の活動に心を寄せ続けてくださった昭和天皇の御姿、上皇皇后両陛下の慰霊の御心を受け継ぐ心構えを誕生日会見などを通して語ってこられました。

こうした御心が、昨年唯一の行幸啓となった終戦から七十五年の全国戦没者追悼式へのご臨席につながったと思っております。

私は、両陛下から賜りました戦没者とその遺族への御心に深く感謝いたしますと同時に、歴代の天皇陛下に御心を寄せていただいている遺族会の代表として国政に身を置く自らの使命の重さに震えました。故に、令和の御代も戦争のない平和な

時代とすべく戦争の悲惨さを、平和の尊さを次世代へ語り継ぐため、全身全霊で精進することを改めて決意いたしました。

コロナ禍にあつて、遺族会活動は今年も従来型の活動は出来ないと思われまふ。しかし、昨年知恵を絞って、試行を重ね多くの会員の協力によって実施に至った追悼式や慰霊祭、研修会、慰霊碑清掃などの経験を活かし、今できることを確実に取り組んで参りましょう。またその様子を孫世代の力を借りて発信し続けま

本紙でもお願いしているミャンマー小学校修繕募金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申しあげます。

なお、大変恐縮ではございますが都道府県名にタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等）サカモトススム、カワムラシンジ、ヨコモジ、イシイ(以上、一月一日から一月末日まで)

皆様からいただきました「ミャンマー小学校修繕募金」は校舎等の修繕費用に充てさせていただきます。

誠にありがとうございます。

誠にありがとうございます。

誠にありがとうございます。

誠にありがとうございます。

誠にありがとうございます。

福岡で青年部結成 全国組織38支部となる

福岡県遺族連合会が青年部活動推進部(青年部)が結成された。

令和二年十一月二十九日、福岡県筑前町立大刀洗平和記念館で、青年部活動推進部発足式が行われた。

発足式では、部長に就任した栗原渉氏が挨拶し、青年部活動推進部及び青年部活動推進部の設置等について、推進員設置から第一回までの研修

支部、会員数は、百四十九人(令和二年一月現在)である。



発足式で挨拶する栗原青年部活動推進部長 =11月29日、大刀洗平和記念館で

特別企画展を開催

感染症予防をテーマとして

昭和館

昭和館では、令和三年三月十三日から五月九日にかけて、特別企画展「丈夫なからだで病を防げ！健康づくりと感染症予防」が開催される。また、二階ひろばでは、三月二十日から五月九日にかけて、写真展「マンガ『風太郎不戦日記』を通して知る戦時下のくらし」が開催される。

現在、新型コロナウイルス感染症への対策や外出自粛中の体調維持のため、「健康」への関心が高まっているなか、昭和館では「丈夫なからだで病を防げ！健康づくり」と題しと感染症予防」と題し

た特別企画展が開催される。展示は三部構成となっており、「I 戦時体制と健康政策」では、戦時体制の強化に伴い、国民体力の向上が重要施策として掲げられ、国民精神総動員運動の一環として、「国民一体」となつて健

康増進を呼びかける運動が展開された様子が紹介される。「II 健康を求めて」運動、栄養・生活の工夫」では、戦争の長期化による写真展「マンガ『風太郎不戦日記』を通して知る戦時下のくらし」では、戦時下の栄養事情は悪化の一途をたどるなか、「国民病」ともよばれた結核を予防し、健康を維持するための体操や食事の工夫等が紹介される。

「III 戦時下の健康政策」では、終戦直後、衛生状態が極めて悪く、食糧事情も逼迫しているなかで、急性伝染病の防疫や栄養状態の改善のために行われたさまざまな健康政策が紹介される。二階ひろばで開催される写真展「マンガ『風太郎不戦日記』を通して知る戦時下のくらし」では、戦時下のくらしや青春時代を戦争に翻弄された風太郎と山田風太郎・漫画・勝田世代の男子学生たちの姿



妻への手紙

陸軍上等兵 丸山 七郎

昭和十九年七月十八日
マリアナ諸島にて戦死
京都府京都市右京区御陵北山下町出身 三十二歳

この頃はどうかね。一月の末二月ともなれば、京都では一番寒いだろう。朝、水使ひには大へん身にこたへると思ふ。夜、寒さのため子供等を寝冷えさせない様に気を付けよ。自分が去年の冬、御陵で暮らしたが大へん寒かった。お前は子供に薄着をさせるが、足元に十分気を付けて暖かくしてやつてくれ。

あまり泣かさぬ様、おこらぬ様に十分機嫌を取つてやつてくれ。間食にやる物もあまり無からうが、つとめて何か作つて近所の子供等にひげんさせない様にしてやつてくれ。又、寒い夜に風呂へ行く様に、あまり寒い日に外へ長らく連れ出でん様に、では十分気を付けよ。

奉天満洲第六二六八部隊
丸山 七郎
丸山君子殿
【令和三年二月靖国神社頭掲示】
(原文のまま)
愛しきものへ



「健康週間」のポスター（昭和13年）

九段短歌

選者 安元 百合子
千葉市 石橋 嘉子
三歳のモノクロ写真胸に抱き父は果てしか南の海に
仏壇に貝がら白く置かれあり慰霊に行きし南の島の

「金剛」と将兵眠る海静か平和つづけて手をは合わせ
甲州市 三森 一雄
「島海」の遺族の息女健気にもクルーズ船にて南海に
佐世保市 田中 暁
生涯を大和平和に身を尽くし、まやかに靖国の魂
村上市 松田 文男
戦死せし父を誇りに育てる亡弟と吾は気丈な亡母に
小諸市 塩川 篤子
戦いの朗報の新聞読み聞かす父居る島を知らざりし母
青森県 田中 恭子

2県で日章旗返還

OBONソサエティ

本会が厚生労働省の委託を受け実施している「戦没者等の遺留品返還に伴う調査」事業で、戦没者の遺品の返還運動を推進しているOBONソサエティから本会に照会があった日章旗が三重県、茨城県でそれぞれ遺族に返還された。

三重県では、米国カンザス州在住のジェームズ・エッガーさんが元米兵だった妻の伯父が戦地から持ち帰ったものを譲り受けた日章旗が、フィリピン群島で戦死した三重県津市出身の大橋正三に感謝したいと話した。茨城県では、米国オレゴン州在住のクリストファー・カービーさんが元米兵の父が戦地から持ち帰った大切に保管されていたのを譲り受けた日章旗が、マリアナ諸島で戦死した茨城県桜川市大國玉出身の深谷健児さんのものと判明し、十二月十六日に、同市役所で遺族の深谷克己さん、英美さん夫妻に返還された。

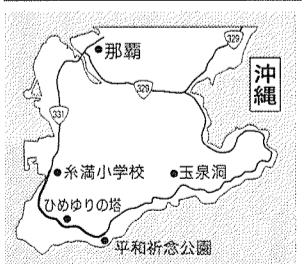


日章旗を受け取った深谷克己さんと英美さん夫婦(右から3人目同2人目)=12月16日、桜川市役所で

沖縄平和祈願

慰霊大行進参加者募集

日本遺族会は、六月二十三日に開催予定の「沖縄平和祈願慰霊大行進」への参加者を募集している。この事業の目的は、先の大戦で多くの尊い命が失われた沖縄戦を振り返り、砲弾降りしきる中、苦難の撤退を余儀なくされた戦没者が辿った道を行進し、平和を祈願することである。



地方だより

各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次の通り。

- 福島県 12月6日、7日 令和2年度福島県遺族会研修会(44人)
- 新潟県 12月18日 市町村地区遺族会長・事務担当者研修会(57人)

お詫び

本紙1月(第841号)発行の2面「令和3年度政府予算における戦没者遺族処遇改善項目」で、一部億の単位を億と誤って表記いたしました。ここに訂正し深謝いたします。